

令和5年度第3回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和5年9月28日（木）午後2時～午後4時
- 2 開催場所 市役所4階 S3・4会議室
- 3 出席者
（委員）
藤田委員長、鳥居副委員長、林委員、芦田委員、田中委員、高橋委員、
工藤委員、大宮委員、室井委員
（事務局）
教育長、教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長（兼）高洲公民館長、
生涯学習課長（兼）青少年センター所長、市民スポーツ課長、郷土博物館長、
中央図書館長、青少年課長、生涯学習係（3名）
- 4 傍聴人 2人
- 5 正副委員長の選出
- 6 会議の運営について（事務局説明）
 - （1）今後の日程について
 - （2）社会教育委員の役割について
- 7 議題
 - （1）報告事項（事務局説明）
社会教育関係行事案内
 - （2）協議事項
「浦安市の生涯学習に期待すること」

正副委員長の選出

互選により委員長は藤田委員、副委員長は鳥居委員が選任された。

会議の運営について

(1) 今後の日程について

事務局から、今後の社会教育委員関係事業計画について説明した。

(2) 社会教育委員の役割について

事務局から説明した。委員長からの補足説明は以下のとおり。

委員長

文部科学省のホームページを見ると、国の社会教育の方向性
がわかるので、是非こちらをご参考としていただきたい。

(1) 報告事項

社会教育関係行事案内

各課の行事案内については、資料の配付をもって説明とした。委員からの
主な意見・質問等は以下のとおり。

委員長

浦安アートプロジェクト「浦安藝大」のイベントの概要につ
いて伺いたい。

事務局

浦安アートプロジェクトは、市と東京藝術大学が連携し、ア
ートによって新たな価値の創出やまちの魅力向上、地域や社
会の課題解決のきっかけづくりをするプロジェクトである。
令和5年度は、高齢化と孤立、防災と水害などをテーマに、
まちなか展示、ワークショップ等を行う。周知方法としては、
まちなか展示は、浦安駅や新浦安駅、東京ベイシティバス、
市内の公共施設や小中学校にポスターを掲示する予定でい
る。また、広報うらやす10月15日号で、浦安アートプロジェ
クトの紹介記事を掲載する。

委員

事務局

X（旧ツイッター）など、SNSでの情報発信はするのか。
SNSを含め、様々な方法で情報発信していきたい。また、
専用のホームページも開設する予定である。

委員長

SNSは有料化の流れもあるが、その活用について市はどの
ように考えているのか。

事務局

情報発信は様々な方法があるが、発信のベースになるのは、
市のホームページになる。X（旧ツイッター）は文字制限が

あり、インスタグラムは写真が中心であるなど、SNSでは伝えられる情報に限りがある。そこで、市のホームページに繋げる手段として、SNSを活用しているところである。伝えたい情報に合わせたツールで情報発信することが必要だと考えている。

委員 今回、社会教育委員になって初めて社会教育委員会議に出席したが、この会議で「社会教育関係行事案内」が報告されている趣旨は、単なる行事のお知らせなのか、それとも、委員に参加してほしいということなのか。

事務局 市の社会教育事業のイベントをお知らせすると共に、できれば実際に見に来ていただければありがたいという趣旨である。

事務局 見に来ていただいた上で、社会教育委員会議などの場で、意見や感想をいただければありがたいと考えている。

(2) 協議事項

「浦安市の生涯学習に期待すること」

各委員の意見等は以下のとおり。

委員 令和5年4月から千葉県立浦安南高等学校に着任した。生徒達に何を伝えていくかということ、日々考えている。この社会教育委員会議に参加することで、意見や情報を吸収して、教育現場に生かしたい。早速できることは、生徒に市の社会教育のイベントを紹介し、関心をもってもらいたいと思っている。これからの教育は、学校教育だけではなく、社会教育と両輪となって、地域社会と繋がりを持つていくことが必要だと思っている。

委員 浦安市民は学ぶことに積極的であり、公民館や市民大学で学んでいる人が多いと思う。しかし、以前、市民活動センターの責任者をしていた経験から話をすると、その学びをまちづくりに繋げていくことは難しいと感じている。私が所属している浦安市の婦人の会の会員は、浦安の伝統を理解して、実践している人が多くいるが、それを地域に還元する難しさを感じている。これについては、市も課題認識していると思うが、社会教育委員としても、学びとまちづくりについて、考えていきたい。

委員 現在、市の小中学校の部活動の在り方検討委員会に参加している。部活動に関する大きな流れとしては、これまでは学校教育として行っていたが、今後、週末は外部の団体に依頼するなど、社会教育として行う流れになってきている。ここで重要なのは、子どもたちにとってマイナスにならないようにしなければならないということである。学校、各スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ推進委員、スポーツ協会などが集まり、各団体の活動報告と学校の部活動の対応について話し合う場を作って、みんなで一緒に考えていくことが大事だと思っている。

委員長 コロナ禍を経て、子どもたちに部活動離れや体力面の低下など影響はあるのか。

委員 コロナ禍をきっかけとした部活動離れがあるとは言えないと思う。

部活動離れということに関連して言うと、今、スポーツは2極化が進んでいると感じている。指導者の制限の関係などから、部活動離れに拍車がかかっていると感じる一方で、プロスポーツはテレビなどで注目を浴びている。バランスよくやっていくにはどうしたら良いのか。教師がどう関わっていくのかが大事だと思う。個人的には、勝利至上主義は必要ではないと思っている。

委員 社会教育委員としての私自身の今期のキーワードは、「技」と「居場所」という2つのキーワードを考えている。

先日、中央図書館で行われた製本のワークショップに参加したのだが、大人の「技」を教わるのは心地良いなと感じて、とても楽しかった。市民にも、様々な分野において「技」を持った方が多くいると思うので、その「技」を生かして、教えて楽しい、教わって楽しい、という経験が、教える側、教わる側双方の「居場所」づくりにも繋がると思っている。また、「居場所」について言えば、個人的に子ども食堂でボランティアをしているが、食事だけでなく、子ども食堂という「居場所」を通じて会話が生まれているのを見て、「居場所」づくりは大切だと思った。

委員長 子ども食堂について、現状を教えてください。

委員 私がボランティアをしている子ども食堂では、お弁当の配布を行っている。生活保護世帯は無料で、その他の家庭は、

委員

大人は一食300円、子どもは無料となっている。お弁当を渡す少しの時間にボランティアスタッフとの会話がある。お弁当以外に、フードバンクからのお菓子なども提供することがある。各団体のネットワークによる協力もあり、様々な人達が支援に関わっているため、私自身も学ぶことが多い。約8年間、PTA活動をしていて感じることは、仕事を持っている大人の学びが少ないと思う。その人たちの学びのきっかけとして、SNSを通じて、イベントに参加することで新しい知見を広げることができる。さらに、得た知見を子どもに伝えることで、子どもの学びにも繋がっていく。

最近、感じているのが、「キャリア」という言葉の持つ意味が変わりつつあるということである。職場組織で地位を上げていくのではなく、精神的な豊かさや幸福を追求することに変化してきている。仕事のネットワーク以外でネットワークを作り、今までの経験の積み重ねをキャリアとして形成していく。生涯学習が、その形成の一助になれば良いと期待している。

また、一つのコミュニティの中では良い繋がりができていても、他のコミュニティの間ではあまり連携ができていないケースが少なからず見受けられる。生涯学習の機会を通じて、コミュニティ同士の繋がりを持つことができれば、非常に大きいと思う。

委員

コロナ禍以降、オンライン化が進み、対面によるやりとりが少なくなっている。人と直接会って言葉を交わすことが大切だと思うが、その機会が以前より減少しており、人によっては、メンタルに影響している。中には、人とつながることに疑問を感じている人も出てきている。個人的には、そのような状況に憂いを感じているので、今後、生涯学習の場が、人と人の繋がりを作るきっかけになるようにしていければ良いと思う。

委員

資料3-5の社会教育関係行事案内を見ると、改めて、浦安市は社会教育が活発だと思った。イベントは、広報誌にも掲載されているが、おそらく見落とししている人も多いと思う。全ての情報を届けることはできないが、必要な人に必要な情報を届けるためのPR方法が課題だと思った。

まちづくりに関して言えば、私の住んでいるところの自治

会の方から、高齢で役員を受けたくないという理由で会員が減っている話を聞いたが、逆に、高齢者には自治会に加入してほしいと思う。

情報を繋いでいくためのPR方法の課題と、まちづくりに必要な人と人との繋がりをどう繋げていけばいいのかということについて、今後考えていきたい。

委員

日の出中学校の学校支援コーディネーターとコミュニティスクールの推進委員をしている。

学校支援コーディネーターの活動では、先日、中学2年生の職場体験の受け入れ先が少ないということだったので、市内のホテルなどをお願いして、ご協力をいただいた。

また、今年で9年目になるが、マナー講師の認定資格を生かして、毎年、中学3年生を対象に受験の面接指導を行っている。

先日、個人的に行っているトールペイントのサークルで、参加者に、浦安市の生涯学習についての認知度を伺ったところ、イベントが多いにも関わらず、知っている人は少なかった。理由を聞いてみると、市のホームページを見ても、情報にたどりつけないということだった。他市事例も参考にしながら、SNSも含めて、市民に情報を伝える良い方法を考えていくべきだと思う。

委員長

皆さんのお話を聞いて、様々な課題意識を持っていることを知ることができた。これを次回以降の会議にもつなげていきたい。

(3) その他

次回の会議日程について事務局より説明

令和5年度第4回定例社会教育委員会議

日時：令和5年11月17日（金）午後2時から

場所：市役所 4階 S3・S4会議室